

# 交差点での交通事故の防止に向けて

くもずほんごうちょう

～国道23号雲出本郷町交差点（津市）にて交差点改良後の効果～

## 1. 概要

国道23号と国道165号が交差する『雲出本郷町交差点』（三重県津市）において、国道23号伊勢方面より国道165号への右折車が右折レーンをはみ出し、直進交通を阻害するなどにより、後続の直進車との追突事故が発生しておりました。

このため、令和3年12月に交通事故対策として、右折レーンの延伸、注意喚起の路面標示の追加などの交差点改良工事を実施しました。

この度、交差点改良後における車両の挙動を分析し、対策効果を確認いたしましたのでお知らせします。

追突事故防止に向けた**最も期待したい効果**が発現

**急ブレーキの減少**（1万台当たりの急ブレーキ回数）

約98回/万台だったのが約85回/万台に**1割以上も減少**

～ 追突事故時などに生じる急ブレーキ発生回数の減少は、追突事故防止へ期待 ～

2. 資料 国道23号雲出本郷町交差点対策内容(資料1)

3. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

4. 解禁 指定無し

5. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

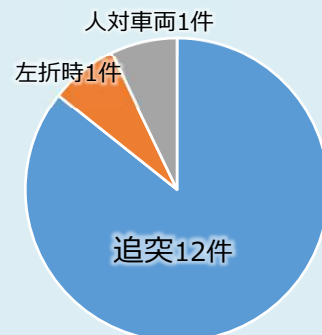
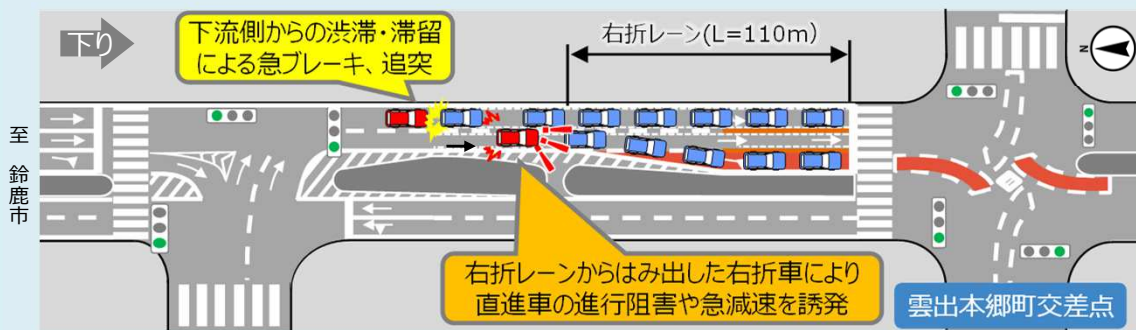
副所長 藤原 弘典(ふじはら ひろのり)

道路管理第二課長 加藤 練志(かとう れんし)

電話:059-229-2222

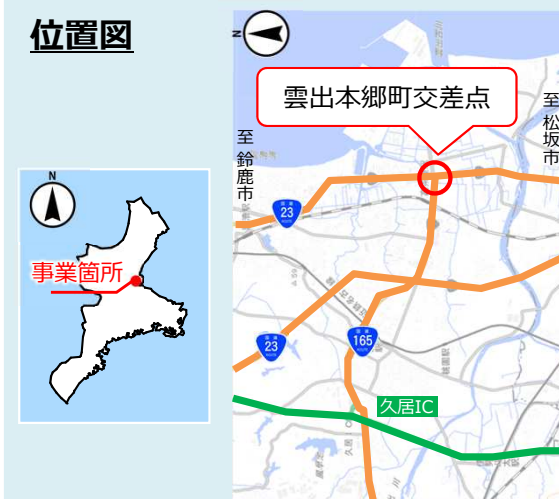
- 国道23号雲出本郷町交差点では、右折レーン付近において、急ブレーキや追突事故（12件/4年間）が発生。
- 「右折レーン延伸」「中央分離帯の開口部閉鎖」「下り線ドットライン修繕」「追突注意路面表示」「追突注意喚起看板」の対策を実施。
- 右折レーンの延伸により後続車の阻害が解消し、急ブレーキ発生回数が減少。今後、追突事故発生の抑制効果を期待。

## 事故発生状況と発生要因

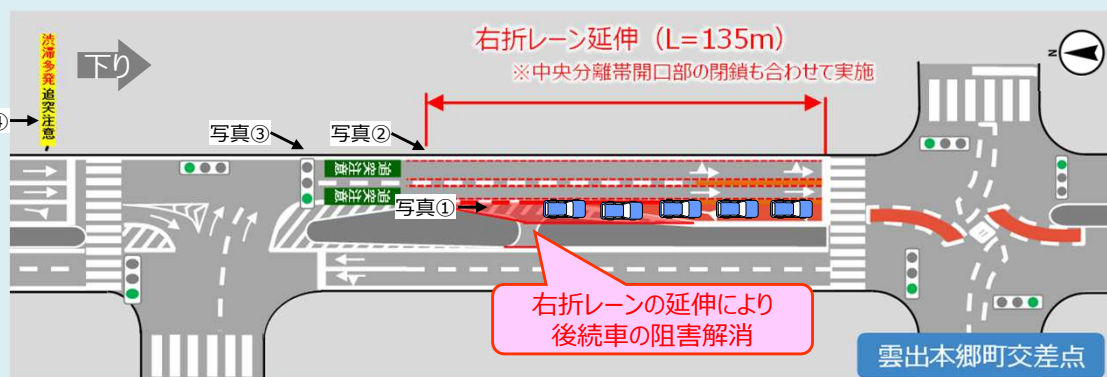


出典：平成26-30年（4年間）の交通事故

## 位置図

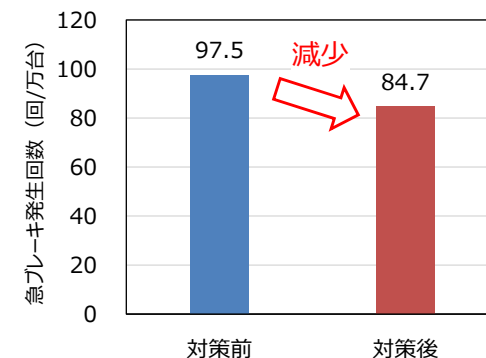


## 対策内容



## 対策効果

右折レーンの延伸により後続車の阻害が解消し、右折レーン付近の急ブレーキ発生回数が減少。



出典：ETC2.0プローブ情報(急ブレーキ)  
 対策前：令和3年6月（1ヶ月間）、対策後：令和4年6月（1ヶ月間）  
 ※交通挙動の安定する対策施工の半年後の時期を設定